

# 「新之助」生育速報 No. 4

令和元年7月1日  
村上農業普及指導センター

## 1 生育調査ほ・実証ほにおける生育状況（7月1日現在）

### 生育概況

**草丈:やや短 茎数:多 葉数:並 葉色:やや濃**

- 中干し効果不十分で茎数多い（強風地域では一部少ないほ場もある）。
- 葉色はやや濃く、いもち病の感染が懸念される。

新之助生育調査ほ・実証ほの調査結果(7月1日現在)

調査場所	田植日	草丈 (cm)	茎数 (本/m <sup>2</sup> )	葉数 (葉)	葉色 (SPAD)
関川村下関(関川)	5月21日	34	383	8.3	37.6
村上市牛屋(神林)	5月15日	35	663	10.5	40.4
村上市岩沢(朝日)	5月22日	38	733	10.5	38.3
平均	5月19日	36	593	9.8	38.8
指標値	5月15日	38	580	10.1	36.5
【参考:前年平均】	5月17日	33	553	9.5	38.2

## 2 今後の技術対策

### 当面の管理のポイント

#### ◎中干し・溝切りの管理

- ・溝の点検など排水対策を徹底する。茎数が多いほ場は中干しを強めに行う。適正生育量なら出穂の1か月前（7/15頃）に中干しを終了する。
- ・中干し終了後は間断かん水とし、幼穂形成期以降は飽水管理とする。

#### ◎いもち病対策

- ・BLASTAMでは6月8日と30日に、いもち病感染好適条件が出現した。また、当面は平年に比べ曇りや雨の日が多いと予想され、葉いもちの発生が懸念される。
- ・株を丁寧に観察し、病斑を確認した場合は直ちに粉・液剤で防除する。
- ・いもち病抵抗力増強のため、ケイ酸質資材を施用する。

#### ◎カメムシ対策

- ・一斉に草刈りを行うとカメムシ類の密度抑制効果が高まる。必ず草刈り重点推進期間（6月29日（土）から7月15日（月・祝）中に農道・畦畔の草刈りを実施する。